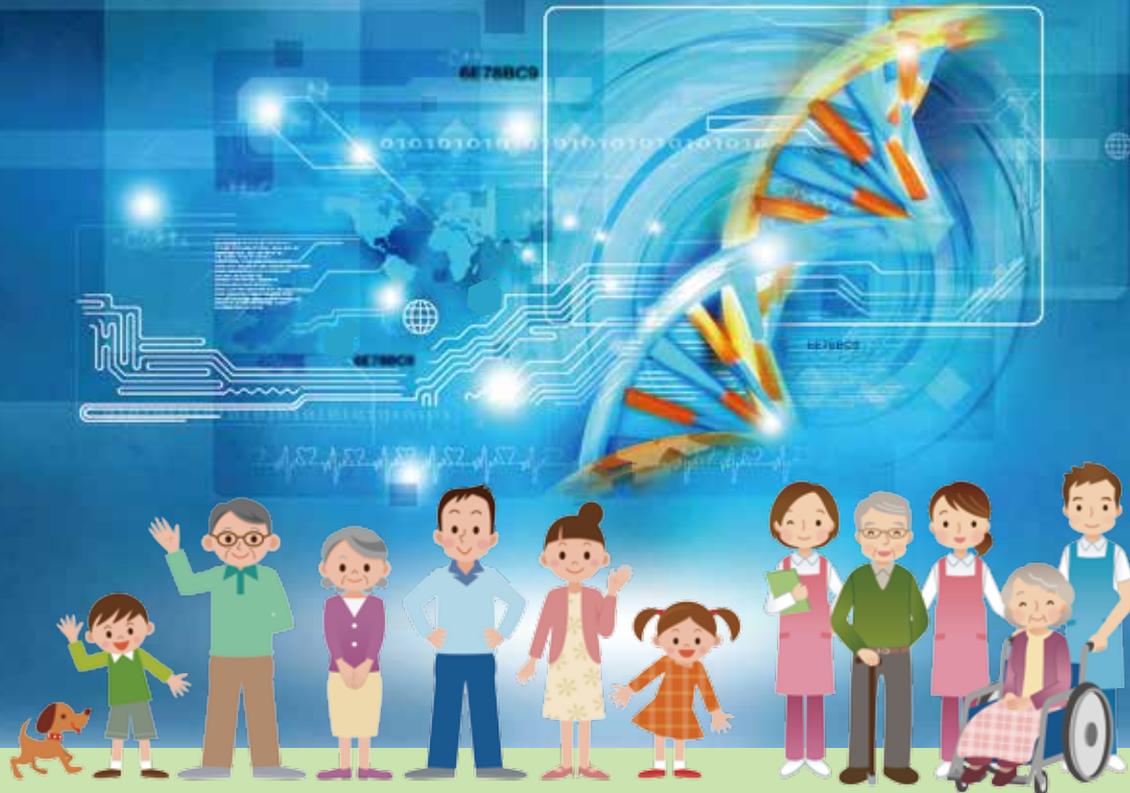


いま ゲノム社会の現在、そして未来

—ゲノムデータをどう活かすか—



【プログラム】

◎開会の挨拶

大阪大学大学院 医学系研究科 加藤 和人

◎講演1：「ゲノム情報と遺伝統計学

—ゲノム情報をどうやって解釈するか—



大阪大学大学院 医学系研究科 岡田 随象

◎講演2：「遺伝情報に基づく差別とは何か？

—遺伝子格差社会が到来するのか？—



京都府立医科大学大学院 医学研究科 瀬戸山 晃一

◎パネルディスカッション

指定発言：武藤 香織 (東京大学 医科学研究所)

パネリスト：瀬戸山 晃一、岡田 随象、

黒川 顕 (国立遺伝学研究所)、杉江 達也 (文部科学省 研究振興局)

【入場無料】

定員：150名 (参加申し込みなど詳しい情報は下記サイトをご覧ください。)

<http://ethpol.org/seminar/20171009/>

主催：文部科学省科学研究費新学術領域研究「先進ゲノム支援」、
ゲノム科学と社会ユニット

【日時】

2017年 10月 9日 (月曜・祝日)

15時～17時30分 (14時40分開場)

【場所】

グランフロント大阪北館タワーB・10階

ナレッジキャピタル・カンファレンスルーム

(Room B05・06・07)

